

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市西城町 三坂辺地
(辺地の人口 143 人、面積 17.8 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称
庄原市西城町三坂

(2) 辺地の中心の位置
庄原市西城町三坂 160 番地 2

(3) 辺地度点数
213 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 46 km に位置しており、北は鳥取県に接し、急峻な山間の地形に集落が点在する地域である。

本地域に立地するすずらの湯は、休憩室・食堂や売店を備えたひば道後山高原荘の入浴施設である。道後山等でのスキーや総合体育館・クロカンパークにて合宿が行われる際の入浴施設として、多くの方に利用されている。

当該施設は築後 12 年が経過し、老朽化に伴う整備が必要となっている。

3 公共的施設の整備計画

平成 30 年度の 1 年間

(単位：千円)

区 分 施設名 事業主体		事業費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
観光レクリエーション施設 (すずらの湯)	庄原市	3,972	—	3,972	3,900
合 計		3,972	—	3,972	3,900

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市東城町 小奴可辺地
(辺地の人口 1,170 人、面積 86.1 k m²)

1 辺地の状況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
庄原市東城町小奴可、加谷、内堀、塩原、千鳥、小串
(但し、国定公園の区域を除く。)
- (2) 辺地の中心の位置
庄原市東城町小奴可 2658 番地 3
- (3) 辺地度点数
167 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から北東へ約 35 km に位置し、北は鳥取県、東は岡山県に接している。平坦地に乏しい急峻な地形に加え、標高 500m 以上に集落が点在する山間の農村地域である。

本地域内を通過している JR 芸備線は、運行便数が少なく極めて不便であり、地域内を通過する国道 314 号線や県道が住民の生産活動や利便性を確保する上で重要な役割を果たしているが、各集落から国道に通じる県道や市道、農道は未整備の箇所が多く、早急な道路網の改良・整備が必要となっている。

3 公共的施設の整備計画

平成 30 年度から平成 32 年度までの 3 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道塩原西側線)	庄原市	33,000	—	33,000	33,000
合	計	33,000	—	33,000	33,000

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市東城町 八幡辺地
(辺地の人口 782 人、面積 45.1 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

庄原市東城町保田、川鳥、森、田黒、菅（但し、受原行政区を除く。）

(2) 辺地の中心の位置

庄原市東城町森 152 番地

(3) 辺地度点数

150 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から東へ約 49 km に位置し、標高 1,009m の飯山山麓に広がる平坦地に乏しい農村地帯であり、過疎化の進行により地域活力の停滞が顕著となっている。

道路網については、国道 314 号線の整備が完了し、住民の利便性や生産活動において重要な役割を果たしているが、これに接続する市道や農林道の整備が遅れているため、車輛の通行や日常生活に支障をきたしている。

地域の活性化、住民の利便性向上及び生産活動の促進に向け、早急な道路網の整備が必要である。

3 公共的施設の整備計画

平成 30 年度から平成 32 年度までの 3 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道八幡研修センター北線)	庄原市	12,000	—	12,000	12,000
市道・橋りょう (市道森市場線)	庄原市	12,000	—	12,000	12,000
合	計	24,000	—	24,000	24,000

総 合 整 備 計 画 書

広島県庄原市総領町 亀谷辺地
(辺地の人口 190 人、面積 8.6 k m²)

1 辺地の状況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称
庄原市総領町亀谷

(2) 辺地の中心の位置
庄原市総領町亀谷 1228 番地 1

(3) 辺地度点数
179 点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本地域は、市の中心部から南東へ約 11 km に位置し、国道 432 号線及び県道 414 号線沿いに集落が形成されている。

地域内を通過する国道 432 号線が住民の生産活動や利便性を確保する上で重要な役割を果たしているが、各集落から国道に通じる県道や市道、農道は未整備の箇所が多く、早急な道路網の改良・整備が必要となっている。

3 公共的施設の整備計画

平成 30 年度から平成 32 年度までの 3 年間

(単位：千円)

施設名	区分 事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
市道・橋りょう (市道小坂本線)	庄原市	43,000	—	43,000	43,000
合	計	43,000	—	43,000	43,000